

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅡ		TCH107
講義名（コード）	TCH_ビジネスマナーⅡ_B		TCH107B
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	池内 美恵子	時間数	30
成績評価教員	池内 美恵子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、実務家教員による授業である。□	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	・専門力における、サービス分野の学びの中で、学生がホスピタリティの基本を理解しビジネス実務マナー知識の習得、及び演習を通してビジネス社会の基本ルール（職場常識）を理解できるようになる。
全体の内容と概要	・ビジネスマナーにおける基本的な知識を学び、ビジネスマナーにおける実践力、社会人としてのマナーを身につける。ビジネス実務の遂行に必要な一般知識の習得、業務遂行を行うのに必要な技能の取得。 ・自己の考えを表現する力や、他者とのコミュニケーション能力を育てる。
授業時間外の学修	・授業開始までに、必ず一読しておくこと。 ・復習課題としてレポートの提出を求めることがあります。
履修上の注意事項等	・マナーの授業であると心得、授業中の態度、及び言葉遣い等に気をつけること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	・後期授業への取組、資格取得に向けてモチベーションをあげる	・後期オリエンテーション・授業の受け方 ・予習復習への取組等について
2	・社外のマナーを理解する①	・名刺の扱い方 ・仕事に役立つ雑談
3	・社外のマナーを理解する②	・場所ごとの席次 ・案内と見送り
4	・社外のマナーを理解する③	・お茶の出し方、いただき方 ・訪問のマナー
5	・社外のマナーを理解する④	・営業活動・派遣、出向
6	・社外のマナーを理解する⑤	・単元（社外のマナーを理解する）で学んだことの総括
7	・ビジネススキルを理解する①	・敬語の使い方 ・話ことばと書きことば
8	・ビジネススキルを理解する②	・漢字の使い方 ・ビジネスメールの形式
9	・ビジネススキルを理解する③	・ビジネス文書の形式
10	・ビジネススキルを理解する④	・はがきと封筒の使い方、書き方
11	・ビジネススキルを理解する⑤	・電話を受けるとき ・電話をかけるとき
12	・ビジネススキルを理解する⑥	・単元（ビジネススキルを理解する）で学んだことの総括
13	・後期1～12までの纏めを確認	・後期1～12までの纏め及び、後期期末試験のプレテスト
14	・後期期末試験	・後期期末試験実施
15	・後期期末試験についてFB	・後期の総括 後末試のフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	・ ISBN：9784820727767 書籍名／出版社：留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール／日本能率協会マネジメントセンター
参考文献・資料等	・ 早稲田教育出版ビジネス実務マナー検定受験3級ガイド、3級実問題集他
備考	・ 授業内にロールプレイング、演習を実施する。